



元気いっぱい！満喫！春の遠足

4月28日。朝、登校指導に立っていると、足取り軽く、キラキラした笑顔で登校する子どもたちの姿がありました。「おはようございます！」という元気な声が、いつも以上に響き渡ります。中には普段は少し登校がゆっくりな子も、この日は早々に準備を済ませて登校。まさに「遠足マジック」ですね。子どもたちのワクワクする気持ちがこちらまで伝わってきました。

午前8時35分、全校児童で大淀海岸海水浴場を目指して出発しました。目的地まで2キロの道のり。車で通り過ぎてしまえば一瞬の景色も、実際に自分の足で歩くことで、子どもたちの目には新しい発見が飛び込んできたようです。「あ！いつもお世話になっている町づくり協議会の方の事務所はここにあったんだ！」「校歌に出てきた大堀川ってここだったんだ！」そんな小さな発見が、道中をいっそう楽しいものに変えてくれました。会話が弾むうちに、あっという間に大淀海岸に到着です。

海岸では縦割り班に分かれ、砂浜アートに挑戦しました。お題は「伊勢といえば……」。最初は「う～ん」と悩んでいた子どもたちも、一度アイデアが浮かぶと夢中で砂を掘り始めます。

- 砂の山を二つ並べて「夫婦岩」
- 鳥居を形どった「伊勢神宮」
- さらに「伊勢うどん」というユニークな作品も！



夢中で砂浜アートに取り組みました！



お弁当で心もお腹も満腹になりました。

どの子も真剣かつ楽しそうな表情で、子どもならではの豊かな発想力と表現力に驚かされました。

その後は縦割り班でのミッションゲームを楽しみました。暗号解読ゲームの答えをたどっていくと……浮かび上がったのは「も・う・す・ぐ・お・べ・ん・と・う」の文字！待ちに待ったお弁当の時間です。お家の方が用意してくださった愛情たっぷりのお弁当をみんなで囲み、青空の下で食べるおにぎりは格別でした。お腹も心もすっかり満たされたひとときでした。

今回の遠足で何より嬉しかったのは、子どもたちの成長した姿です。特に上級生の振る舞いには目を見張るものがありました。暑い中、下級生をボードであおいで涼ませてあげる姿。下級生がトイレから出てくるのを、そっと待っていてあげる姿。そんなさりげない気遣いが随所に見られ、卒業生が残してくれた「優しさのバトン」が、しっかりと在校生に受け継がれていることを実感しました。

のどかな春の一日、子どもたちのくったくのない笑顔は、私たち大人に大きな幸せを運んでくれました。お忙しい中、遠足の準備にご協力いただいた保護者の皆様に心より感謝申し上げます。今後とも、子どもたちの健やかな成長を温かく見守っていただければ幸いです。

5年生 田植え体験「どろんこになりながら、命を植える」

5月1日、5年生が楽しみにしていた田植え体験が行われました。今年も「東大淀を守る会」の皆様のご協力のもと、子どもたちは意気揚々と学校を出発しました。

田んぼに到着すると、守る会の皆様が最高の笑顔で迎えてくださいました。子どもたちは靴下を履いたまま、いよいよ田んぼの中へ。「わっ、ぬるっとする！」「冷たくて気持ちいい～！」普段見慣れている田んぼですが、実際に足を踏み入れるのは初めての経験です。独特の感触に驚き、最初は戸惑っていた子どもたちも、次第に泥の感触を楽しみながら作業に没頭していきました。

作業では、等間隔に赤い目印がついた長いロープを使いました。その目印を頼りに、一株ずつ丁寧に苗を植えていきます。声を掛け合いながら進めた結果、田んぼには真っ直ぐな苗のラインが描き出されました。自分たちの手で作り上げたその美しい光景に、子どもたちも「やった！」と大満足の表情を浮かべていました。



今回の活動を通して、子どもたちは私たちが毎日口にするお米ができるまでの「米作り体験」の一端に触れることができました。泥にまみれ、腰をかがめて作業する大変さを知ること、食への感謝の気持ちも深まったことと思います。

ご多忙中にもかかわらず、準備から当日のご指導まで温かく支えてくださった「東大淀を守る会」の皆様、本当にありがとうございました。子どもたちの靴下は泥んこになりましたが、その分だけ地域の方々の愛情と、自然の豊かさをしっかりと肌で感じた一日となりました。秋の収穫が今から待ち遠しいですね。